

東西条地域センターだより

第41号

令和元年12月25日発行

東西条地域センター 〒739-0007 東広島市西条土与丸 2-3-4 TEL・FAX 082-421-2023

目出度さも ちう位ない おらが春 (一茶)

旧暦では初春といえば新年のことであった。新暦になってもその習慣が残り、新年のことを「初春」と呼んでいる。新年は一年の初め、見るものすべてがめでたく改まって感じられる。(角川学芸出版・俳句歳時記より)

みなさんはどのように過ごされますか？ 年の初めの「元日」一年間の出発点として、数々の風習が伝承されています。初詣、年始回り、門松、鏡餅、若水、お屠蘇、雑煮、おせち料理・・・等、地方により家庭により、多少の差異はありますが、ほとんどの人がこの日を祝う事始ですね。穏やかに過ごして下さいませ。(センター長)

《東西条小学校 2年生 80名が笑顔を届けに来てくれました。》

生活科の授業で“もっとなかよし町たんけん”として、東西条地域センターを訪ねてくれました。

(ねらい)東西条地域センターの役割、人々の活動(講座の人たち、センター職員等)の様子を知り、地域センターに親しみをもつこと。また地域のよさに気づき、愛着を持つことが出来るようになることでした。

- ① 子どもたちが、地域で働いているセンター職員の地域への思いや児童たちの生活との関わり、関わったセンター職員やセンターに関心を持ち、親しみや愛着をもって話したり、見学を通して感じてもらうことの経験でした。たくさんの質問が出ました。「玄関にメダカや花があるのはなぜですか?」「ホールはどのくらい大きいですか? 何人くらい入れますか?」など、するどい観察力があり、質問攻めにあい、時間オーバーするほどでした。
- ② 改めて、地域の大切な公共施設を、皆さんが安心して気軽に使えるような運営を心がけていきたいです。センターを利用しておられる皆さんの想い(もっと上手になりたい、知りたい、学びたい、健康でいたい)を考える機会を与えてもらいました。



《わたしのサークル活動》

地域センターで多様な人を知ることができ、ふれあうことができるのは大事であり、財産です。ふだん周りにいる人達とは、まったく違う経歴や価値観の人達ばかりです。最初は表情を見てどんな人かを想像します。ただ共通の趣味があるということだけでおしゃべりすることが楽しみです。今の世の中、テレビ、インターネット、YouTube、SNS、など画像と文字の情報交換ばかりでは相手の感情は全く分かりません。サークル活動に出掛けて顔を合わせなければつながりは出来ませんね。(センター長折羽)

「生涯学習で人生を豊かに！」に出席しました！

12月2日(月) 東広島芸術文化ホール くららにて

《主催者：東広島市教育委員会・生涯学習課のお話し概要です》

生涯学習とは？ 皆さんも一度は、聞いたことがあると思いますが何のことでしょうか？ 生涯学習とは、私たちが生涯にわたって行う学習活動です。（読んで字のごとくですね）

わたしたちは、生まれるとすぐに家庭を中心として学習を始めます。生涯学習の原点は、家庭教育です。子ども達にとって、社会生活に必要な基本的な生活習慣を育て豊かな心を育むことを目指しています。

- ・親子の触れ合いや同年齢・異年齢の子どもたちとの遊び
- ・自然とのふれあい
- ・地域行事や地域活動への参加などです。

やがて学校に通い始めます。生涯学習の基礎を培う学校教育です。一人ひとりの個性を大切にしながら、基礎的な学力を身につけ、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を通して自己教育力の育成を目指しています。

学校を卒業して社会に出ると、仕事に関わる学習や豊かで充実した人生を送るための学習を続けることになります。

このように、家庭・学校・職場・地域社会で行われるすべての学習を生涯学習としてとらえることができ、生涯学習は、私たち一人一人の生きていく姿そのものに深く関わっているといえます。

ここで、生涯学習の大切な点を3つ。

一つ目は、自発的意思です。すなわち生涯学習は自発性に基づいて行われるものです。

二つ目は、自己に適した手段・方法を自ら選びながら行うものです。

三つ目は、人々が、普段行っているスポーツ活動、文化活動、レクリエーション活動、ボランティア活動等の中でも行われます。

だから、「いつでも どこでも だれでも なんでも」です。

人が生まれてから死ぬまでの間、いわば「ゆりかごから墓場まで」の間に行われる「学び」はすべて生涯学習になるのです。

(記：センター長 折羽)



《有難うございました！！》

12月は大掃除月間です。当センターで講座を開催している主催講座や自主活動講座、38団体の皆さんがセンター内の各分担箇所を清掃してくださいました。普段も講座が終わった後、清掃していただいておりますが、12月は特に設定された場所を時間をかけてきれいにして頂きました。寒い中、冷たい水をバケツに汲んで窓ふきをされたり、床や壁の掃除をされたり、本当にきれいになりました。有難うございました。(職員一同)



《地域センター長のつぶやき》 高齢などを理由に、「今年限りで年賀状を出さない」という、いわゆる「終活年賀状」を出す人が増えています。少し寂しいですが、仕方ないか！